

社

協

だより



新規事業!

買い物支援事業が始まりました

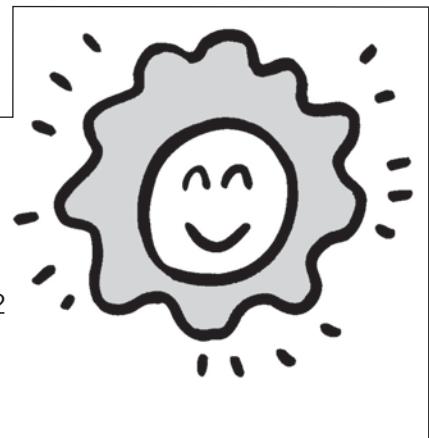


10月17日(月)より、セブンイレブン毛呂山埼玉医大南店とのタイアップによる買い物支援事業(移動販売)が始まりました。まず、初めてのルートとして、黒山区・麦原区にご相談をさせていただき、地元のご理解のもと、原則として毎月第1・第3月曜日に実施することとなりました。

本事業は、ご自分の目で見て商品を選ぶことをお楽しみいただくとともに、ご近所同士での見守り機能の推進を目的として開始しました。

軽トラックの荷台に、おなじみのお弁当やお菓子だけでなく、歯ブラシやタオルなどの日用品も積み込んで、地域の皆さんのもとにお伺いします。なお、商品は店頭価格でのご提供となります。

本事業の開始を足掛かりに、町内の他地区での実施も今後検討してまいります。



発行:社会福祉法人 越生町社会福祉協議会

〒350-0416 越生町大字越生908-12



TEL 292-2977
FAX 292-5616

この社協だよりは再生紙を使用しています。

令和4年度 越生町社会福祉協議会会員加入に ご協力いただきありがとうございました。

今年度も、7月1日より各地区の区長様、組・班長様のご協力を得て、住民の皆様に一般会員へのご加入をお願いしてまいりました。また、9月から本会事務局職員が町内の事業主様へ直接ご依頼しご加入をお願いさせていただきました。おかげ様をもちまして、ご加入いただきました一般会員の総数は、2,281口となり、特別会員は26口、賛助会員が28口となりました。(令和4年10月7日現在)

特別会員と賛助会員にご加入いただきました事業所、個人の皆様を以下のとおりご紹介させていただきます。ご加入いただきました皆様、誠にありがとうございました。

＜特別会員＞

(順不同・敬称略)

いるま野農業協同組合越生支店、介護よろずや梅の家、
介護よろずや風の家、魚愛、新井蘇生堂薬局、
株式会社越生タクシー、岩井屋、市川歯科医院、有限会社花秀、
飯塚電気商会、有限会社星野商店、有限会社鎌北電機商会、
有限会社吉田工務店、オオノ建築設計室、三光産業株式会社、
コジマ電設株式会社、市川建具有限会社、山田うどん食堂越生店、
株式会社入間カントリー倶楽部、はなみず木整形外科、
株式会社丸勝、畠仲忠佳、岩鼻澄、池畠慶二、小林律子、
新井雄啓

(26件)

＜賛助会員＞

(順不同・敬称略)

有限会社五十嵐印刷、医療法人蒼仁会越生メディカルクリニック、
株式会社シマダ、ラーメンショップ太郎、有限会社町田住宅資材、
カットハウス神邊、田島建具店、有限会社田島木工所、
有限会社横山建装、松島屋、かあいファミリークリニック、
昭光物産株式会社、小島弘一、小俣直史、大山幸子、内藤千裕、
小澤章三、小山弘子、松浦秀紀、落合一惠、山中安太郎、
横田芳郎、斎藤寛、清野良一、佐藤光、宮崎初男、
匿名2件

(28件)

視覚障がい者の立場に立って考えよう!



皆様は「相手の立場に立って物事を考える」ということができていますか?「もし、自分が相手の立場だったら、どう感じるか想像してみましょう!」去る10月19日(水)、越生中学校体育館にて社協職員とボランティア2名で視覚障がい者のガイドヘルプについての体験学習を支援しました。

体験した生徒さんからは「いざ、自分で体験してみると、白杖も大事だけれども、ガイドの友人の声が聞こえないと不安だった」と感想をいただき、声かけの大切さを体験していただきました。また、声かけの仕方についても、「あっち、こっち、もうすぐ段差がある」という言葉でなく、「右、左や2時の方向、あと5歩くらいで段差がある」と伝えるなど、全盲の方でも分かりやすい声かけを体験していただきました。

災害救援 ボランティアって?

越生町防災訓練講話

去る10月2日(日)、越生町防災訓練の中で「災害救援ボランティアについて」と題して社協職員による講話をさせていただきました。換気やマスク着用、体調チェックなどの新型コロナウイルス感染症予防策をしながら、3つのグループに分かれ、30分ずつの講話とスライドを見ていただき、合計87名の皆様にご参加いただきました。

越生町内においても、今年の7月12日の「記録的短時間大雨情報」や令和元年台風第19号の際の「大雨特別警報」が発令されるなど、被災体験や避難所等へ避難した経験がある方が多くいらっしゃると思います。災害は忘れた頃にやってくると言われており、引き続き、災害への備えをし、家族や親戚、そしてご近所どうしで、常日頃からコミュニケーションを図る事が大切です。社協では、被災地支援の経験談を含めた「地域防災講話」の出前講座をお引き受けしておりますので、お気軽にお電話ください。



ちょっとまって! 災害救援ボランティアに行く前に…

- 災害発生時は、的確な防災行動で自分自身の命を守り、次に家族の安全を確保する
- 避難の際は、ご近所の災害弱者に声をかけるなど、地域における助け合いを優先する
- 家族やご近所が大丈夫で、余力のある方は災害救援ボランティアセンターの情報を得てから被災地へ
- 個人宅のがれきの片づけ、家具の搬出以外に掃除の依頼も多くあり、女性や高齢者のボランティアも募集
- 参加は自己完結で。服装、装備、食糧、場合によってはテント等も準備。被災後の混乱・物資不足に配慮を
- 「災害義援金の募金」「救援物資の提供」「被災地(者)の消費活動を応援」なども被災者の支援になる

ボランティアさん大募集!

越生地域支え合いサービス事業



日常生活でちょっとした困りごとをお手伝いしてくださるボランティアさんを募集しています。町内在住の高齢者世帯や子育て世帯の方に、掃除・買物代行・簡単な食事の支度・外出付添（外出付添の活動は現在中止しております）などの支援をする有償のボランティアサービスです。

初めての方でも出来るお手伝いです。詳細はお電話でも受け付けておりますので、ご連絡をお待ちしております。

活躍中!

ボランティアさん紹介コーナー

越生地域支え合いサービスボランティア会員 大西玉恵さん

大西さんには、掃除や買物代行などの家事援助を行っていただいております。また、お手伝いをしながら利用者さんとお話をすると、相手の方に寄り添った支援を行っていただいております♪

Q. ボランティア活動を始めたきっかけはなんですか？

社協だよりやボランティアセンターだよりのボランティアの募集を見て、研修会にも何回か参加したりしていました。ヘルパーの仕事を20年務めてきたそのノウハウを活かして、今度は越生地域支え合いサービスのボランティア会員として、少しでもお手伝いできればと思ったのがきっかけです。

Q. ボランティア活動をとおして感じたことはありますか？

ヘルパー時代、介護保険では家事援助の支援できる範囲が限られていて、お断りせざるをえない事がありましたが、支え合いサービスでは利用者さんのご要望にできるだけ対応できるので、私自身とてもやりがいがあります。それに何より利用者さんから「ありがとう！」「とってもきれいになって助かる！」と言ってくださる事が一番嬉しいですし、自分もお役に立てると実感できます。それに利用者の方からいろいろな事を教えていただき毎回発見が出来るのは喜びの一つです。元気の源でもあるので、これからも自分の出来る範囲で続けていければと思っています。



災害救援ボランティアとして活動してみませんか？

近年、台風の襲来や線状降水帯等の発生により、日常生活に影響を及ぼす風水害が発生しています。本会では、町内で床上・床下浸水等にて家屋や庭が被災してしまった世帯を対象に、ボランティアを派遣することを目的として、「災害救援ボランティア」の登録制度を開始しています。

主な活動内容は、濡れてしまった家具や畳の搬出・清掃、床下や庭に入り込んだ土砂等の撤去がメインとなります。力仕事の多いイメージをお持ちの方も多いかもしれません、水害の場合には細かな清掃も必要となり、女性にご活躍いただける内容も多々あります。「忘れた頃にやってくる」災害。住民相互の助け合いシステムを構築できればと思います。ご興味のある方からのご連絡をお待ちしています。